

平成 23 年度第 8 回

恵那市市民評価委員会議事録（要約版）

日時：平成 23 年 10 月 18 日（火）13 時 30 分～

場所：恵那市役所 4F 第 2 委員会室

-
1. 委員長あいさつ
 2. 会議の公開・会議録の公表について（確認）
 3. 議事

評価結果と提言書（案）の確認

次年度の評価方法と委員会について

4. その他

出席者（敬称略）

【委員】市川美彦 大橋由美 柴英子 田口譲 柘植麻美 平野未帆 牧野香 宮地政臣 三輪哲司 山田基

【オブザーバー】竹内泰夫

【事務局】企画部長 小嶋初夫 企画課長 西尾昌之 企画課係長 福平栄久 企画課主査 梶村一之

1. 委員長あいさつ

■委員長 本日は全員の委員が出席していただいている。皆さんに今まで議論していただいた12事業について、精査し整理していきたいと思う。

2. 会議の公開・会議録の公表について（確認）

〔意義なし〕

3. 議事

評価結果と提言書（案）の確認

■委員長 1ページ目の目次はいいと思う。2ページの「はじめに」というところで意見があるか。なければ後でもいいので意見をお願いします。3ページの「平成23年度市民評価委員会の活動」は会議の回数と内容であるので、確認できると思う。5ページから評価の内容である。まず放課後児童対策事業について意見をいただきたい。

○放課後児童対策事業

■委員 今後の展開方向では、特に長島学童保育所の改善とあるが、視察で見たのは2箇所だけなので、長島学童保育所に特定していいものか。

■委員長 長島と類似した施設はあるか。

■事務局 公共施設でないということであれば、他にもある。年間を通じて行っている学童では、岩村が古い施設で旧教員住宅を借りて行っている。大井第2小学校区では土屋作業所（どんぐりの家）を借りて行っている。明智は小学校、山岡も公共施設で行っているので環境はいい。その他の校区では季節学童という形で、夏休みの期間中に学校などを利用している。感覚的なところになるが、長島に一番問題があって、次に岩村や大井第2小学校区に不備があると思う。

■委員長 長島以外に岩村、大井第2小学校区も不備があるということだが、特に長島は2階にあるということと、トイレのそばに調理室があることから、環境がよくない。保育料は同じなのか。

■事務局 詳細な資料は持ち合わせていないが、保育料は各施設で違う。

■委員長 恵那市の施設は公設民営でよいのか。昔は民設民営であったが今は公設民営である。保育料も一定ではないようだが、公設として必要最小限どの程度まで具備していく必要があるのかということだと思う。

■委員 今出た公設民営というところで、長島は民間施設なのになぜ公設なのか、担当者に聞いたところ、書類上の問題と言われた。

■委員 もともと子どもを見るために、父兄が施設を作って始めたものであるが、公設ということから評価とするとCに近いBだと思った。効果としてABCをつければいいと思う。評価の内容が流れるようにサラッとしているので、担当課は提言書の最後の評価資料を良く読む必要がある。

■委員 通年開催カ所は6ヶ所しかない。各町に1つという考え方でいえば、季節学童を拡充して通年にしてもらいたい。人口減少を止めるためにも、市が積極的に関与して拡充していくようお願いしたい。三郷でも通年の学童の開設に向けて動いているが、全ての手続きを地元が行う必要がある。市が積極的に動いて相談に乗ってくれるとありがたい。

■オブザーバー 意見が分かれている事業と、分かれてない事業があったが、途中のプロセスが残るような公表の仕方がよいと思う。文言に移転とあるが、それでいいのか。

■事務局 中間の議事録はウェブページで公表している。報告書に議事録をつけるようなことはできる。

■委員長 提言書だけ見るだけでは分かりにくいということだが、議事録をつけると膨大になってしまう。まとめたものを追加することはできるのでは。移転については、移転以外には方法はないということである。また、文言の未設置地区の解消のところに、「強い行政指導のもと」と追加してはどうか。

■委員 途中経過の議事録をつけるといいのでは。長島学童保育所の改善は早急に望むが、明智の学童も学校内にあるとはいえ、遅れていると聞いた。全体的に改善するようにしてもらいたい。

■委員 提言書を見ただけでは、伝わらないのでは。もう少し詳しく試みてはどうか。例えば、簡易版を作るなどして対応しては。

■委員 評価の結果は市として受け取るのか。担当課として受け取るのか。

■事務局 提言書は市長に提出するので市として受け取るが、どのようにしていくかは担当課で検討する。

■委員 ABCをどのように受け取るのか。Aであればよくやっていると取るのか。

■事務局 担当課は総合評価の中身で判断する。

■委員 ABCだけを見て、意見が担当課に流されてしまうと、我々の努力が無駄になってしまう。

■事務局 改善しなければ意味がない。改善の1つは予算に反映させること。できるものは予算に反映していく。市長に提言することにより、市長から担当課へ改善の指示が出て、すぐできるものは予算に反映する。その結果についてはウェブページに公表していく。1年経ったときに提言どおりできたのか、できなかった場合はなぜできなかったのか、いつやるのかを進行管理していく。必ず提言については実施に向けて進行管理していく。ABCについては分かりにくいので、今後の展開方法で改善内容を示している。文言については今回の会議の内容からはサラッとしているが、長く書くと見にくくなる。議事録では長くなるので、中間意見としてまとめたものを資料として追加したらどうかと思う。冒頭に長々と記載すると、全体を見たい方にとっては見にくいものになってしまう。

■委員長 提言書の付属資料として今までの意見の内容を抽出したものを資料として付記

するということでしょうか。

〔異議なし〕

■委員長 放課後児童対策は人口減少対策としても市が行う必要があることを冒頭に挿入する。また、どんな基準か分からないので、公設民営の基準とする。そして、新たに学童保育所を開設する場合は、地域任せではなくて行政の強い指導によって、協働の中で築いていくということでしょうか。

〔異議なし〕

■委員長 総合評価はBでよいか確認したい。

■事務局 委員の意見ではA B Cの観点が行政として効果的に取り組んでいるかどうかということであったが、10 ページを見てもらうと、この事業そのものの評価であり、行政の取り組み方の評価ではない。

■委員長 行政の取り組みの評価ではなくて、その事業が市民にとって必要性が高いのか低いのかという視点。Aであっても行政への問題提起ができるということで進めたい。そうするとすべてAになる可能性もある。行政の取り組みについては文言で表現するしかない。そうするとBでなくてAになるのでは。

■委員 効率性、公平性と考ええるとBだと思う。

■委員長 Bでよいか。

〔意義なし〕

○特定健康診査・特定保健指導事業

■委員長 医療費を予防医療で抑制し、自分の健康管理をするということだが、内容はこれでよいか。

〔異議なし〕

○人工透析施設運営事業

■委員長 内容的には、後ずさりもできないが、前にも進めないような、悩める内容である。今後の考え方について意見はないか。

■委員 総合評価でいうと、公共性ではAであるが、有効性、効率性では課題があると思う。

■委員 必要なものであるがAであるが、視察ではベッドが空いていた状況だったので、Bではないか。

■委員長 予防医療を市民がどう行うか。透析が必要な状況にならないことが大切である。透析患者が増え、施設が満員になることは恵那市民が不健康な状況になるということ。視察でスタッフの確保が難しいと聞いているので、今の状況に合わせた施設に改善するということがよいのか。

〔異議なし〕

○住宅用太陽光発電システム設置補助事業

■委員 文言として重要なことは盛り込まれているが、太陽光のメリットを市民に伝えることは、すぐできることなので取り組んでほしい。補助金については減らしてでも多くの方に行きわたるようにしてほしい。

■委員長 飯田市が太陽光発電に対して先進的な取り組みをしている。行政として促進していく必要がある。評価内容は変更なしということによいか。

〔異議なし〕

○エコセンター恵那じん芥処理施設維持管理経費

■委員長 ごみ処理としては必要な事業であるが、現状についてはどうなのか意見をいただきたい。AかBかという事業の必要性からAとなると思うが、ご意見をいただきたい。

■委員 施設の必要性ではAであるが、改善点があるということではBである。市民の生活に直結した問題なので、市としていろいろな施策と取るとともに、市民としても自覚が大切。全体的に言えることだが、市民も考え方を変えていく必要も感じた。

■委員長 特に今後の問題として、今のRDF炭化方式を継続するのか、新しい方法を考えていくのかは今後の展開方向で示している。市民の理解については、ごみの出し方についてはごみ百科辞典で周知している。また、建設中の常設型資源ごみ回収施設を今後周知し、ごみの減量化を図る取り組みも出てくる。事業としては極めて高いが、しかし内容としてはBであるが、表現の仕方はそれでよいか。

■事務局 AもしくはBという表現ではなくて、どちらか決めていただきたい。

■委員長 文言のなかで問題点は指摘してある。この内容でよいか。

■委員 効率性ではCではないか。総合評価はBにしたい。

■委員長 Bの意味合いは総合評価の文言と今後の展開方向で示していきたい。B的な考え方として、炭化物は不純物を除去できれば利用できる。形状も変えることができるというのが導入当初の行政の説明であった。現在助燃材だけの利用であるので、炭化物の研究は必要。また、全体的なランニングコストの大きい部分は、機器類の維持管理と燃料費になる。メーカー任せにしないようにする必要もある。

○未登記市道解消推進事業

■委員長 登記事務が忘れられていたところから出てきた問題。今後の開発や道路改良に問題が出てくる。評価はBでよいと思うが、ご意見があればお願いします。

■委員 地籍調査を推進して解消する必要がある。市道とあるが、農道、林道も未登記となっている。

■委員長 県の予算がなく地籍調査が進んでいない。地籍調査事業を推進するという文言を追加する。地籍調査以外にもスピードアップを図るということでもいいと思う。

■委員 市民の協力が必要。地道な仕事であるが、一生懸命した仕事は市民に伝える努力

をする必要があるのでは。

■委員長 評価の内容はこれでよいか。

〔異議なし〕

○地方バス路線の確保（地域コミュニティバス）事業

■委員 デマンド方式はありがたいが、道路の幅がなくていけないところがある。建設課との横との連携が必要。

■委員長 道路改良の問題も含めてという文言を追加する。

■委員 山岡については道路事情はさほど悪くない。

■委員 バス会社との契約は業者が優位になっているのでは。それでは接客態度はよくなる。どうしようもないことなのか。

■事務局 基本的には東鉄バスに路線を維持してもらっている面もある。東鉄バスには補助金を入れて、ぎりぎりのところで運行してもらっているので、行政が弱腰かと言われるば、そういうところがあるかもしれない。

■委員 文言の２行目について、不特定の人を対象としているため、利用者が少ないとあるが、利用者が少ない理由はバスダイヤや路線に問題があるからではないのか。違和感がある。

■事務局 不特定の人を対象としていることだけが、利用者の少ない理由ではないので修正する。

■委員長 この部分は削除する。その他は変更なしでよいか。

■委員 交通弱者の交通手段確保を「図るものの」、とあるがマイナスのイメージになるので、「損なうことなく」としてはどうか。

■委員長 「図るため」とする。

■オブザーバー 「明知鉄道とバスダイヤの改善」とあるが、バスを問題としているので「明知鉄道との接続とバスダイヤの改善」とするのがよいのでは。

■委員長 今後の展開方向、総合評価はこれでよいか。

〔異議なし〕

○恵那ブランド育成事業

■委員長 特にブランドというのは、特産品からよりすぐられたもの。恵那市では栗と寒天ということだが、意見をお願いしたい。

■オブザーバー 恵那市のブランドを「外部の方に」というより「広域の消費者に」と変更したほうがよい。また、産業の振興を「考える上では」というより、「進める上で」と変更したほうがいい。

■委員長 変更してよいか。その他意見があれば後でお願いする。

〔異議なし〕

○都市農村交流事業

■委員長 まず総合評価をAかBに絞っていただく。

■委員 市の計画で交流人口を増やすとある。AかBであれば、Aでいいのでは。予算が少ないので、拡大すべき。過疎的な農村の人が増えて元気になると、中心部も元気になる。次の世代に投資をして、将来的には定住につなげていけるとよい。総合的にはAでよい。文言で「農業交流人口」とあるが、「都市と農村との交流人口」に変更したほうがよい。

■委員 富田のような施設の数を増やせばいいというものではないが、農村の活性化に繋がればよい。

■委員長 恵那市の地理的状况では当然重要な事業となるので、Aとしてよいか。また、空き家対策も考える必要もある、文言を「宿泊」とあるが、「空き家利用と宿泊」と変更してよいか。

■委員 坂折棚田などを利用しながら農村交流人口を増やす。アピールしながら進めてほしい。

■委員長 坂折棚田を利用するという文言を追加したい。

○農作物鳥獣被害対策事業

■委員長 山が荒れることには問題があるので、事業としては重要なので、総合評価はAにしたいと思う。意見を願います。

■委員 農作物の対策は重要度が高い。補助金が少ないと思ったので、助成を増やしてほしい。

■委員長 今後の展開方向で「助成の継続」とあるが、「助成の拡大と継続」としたいがよいか。

■オブザーバー 文言で「収益性から見て」という表現があるが、「被害の状況が甚大なので」に直したほうがいいのでは。

〔異議なし〕

○公民館の管理運営

■委員長 13 地域に公民館（コミュニティセンター）の必要性は地域にとっては、人とのつながり、生涯学習などの活動の拠点なので、総合評価はA。地域協議会への管理委託ということでよいか。住民組織が管理しているところも先進市ではあり得る。行財政改革の一環にもなるが、この内容でよいか。地域協議会でも対応できるか検討したい。

■事務局 地域協議会は地域問題の協議体なので、厳密には公民館を運営するのは地域自治区内のまちづくり実行組織となる。修正させてほしい。

■委員長 今後の展開方向も同じように修正してよいか。

〔異議なし〕

○行政評価制度の構築

■委員 あえてAにするべき。市民がどのくらい理解しているかということ、無関心である。また、行政は前年に習って仕事を行うということから、評価は絶対必要。様式などの問題はあがあるが、内容はAである。

■委員長 行政評価については極めて高い位置付けであるということでAでよいか。総合評価の内容、展開方向もよいか。

〔意義なし〕

次年度の評価方法と委員会について

■委員長 今まで8回の会議を行ってきたが、感想を含めてご意見をいただきたい。

■委員 恵那市の行政の実態がよく分かった。とても勉強になった。議論されたことが、行政や地域に反映されればよい。

■委員 行政の中身の勉強になった。いろんな人の意見を聞くなかで、市民にもいろんな意見があることが分かってよかった。チェックシートを記入するとき、ヒアリングで聞いていないことがあることに気づいたので、委員会の進め方を改善する必要があると感じた。

■委員 2年目で少しずつ内容が分かってきた。事前に質問事項を出したことは会議を進める上で非常によかった。私たちが一生懸命議論したことが、市政に反映されていくと思うと、やりがいを感じる。

■委員 知識がなくて、評価が難しい事業もあったが、皆さんと議論する中で分かったこともあった。恵那市がやっている事業を知ることもできたし、この評価をするに関われたことがよかった。今後は議論した結果が市政に反映するといい。報告書を受けて行政がどのような対応をしたのかを委員や市民が知れるとよい。

■委員 内部の評価資料がたくさんある。計画を立てて、実行して、反省して、また計画に反映させる必要があるが、資料からサイクルが読み取れなかった。計画を適切に立てているかどうか分かるような改善をする必要を感じた。いざチェックシートを書こうとすると、分かりにくい部分があったので、改善してほしい。市民の皆さんに関心を持たせるのが非常に難しい。市民評価委員になりたい人が増えればよいと思う。

■委員 市の在り方を違った面で勉強させてもらった。約600事業ある中の12事業のみ行ったが、市民が関心をもったほうがよいという面では、評価委員会の規模を大きくしていくべき。評価結果が明日の恵那市に少しでも役に立ったらよいと思う。

■委員 評価委員会では公募で参加された方もいて、いい意見がたくさん出たと思う。この意見に対し、市民がもっと関心を持つといいと思った。評価委員がやっていることを市民にどのようにPRしていくのか課題だと思う。

■委員 行政は内部評価を行ってきたが、自分のことを評価するとなかなか英断をもって評価できないことから、市民の目線からの評価は大切だと思う。どんな事業もある周期をもって新しいものに変えていく必要があるので、これから市民の目線で考えて進めていた

できれば、行政も緊張感を持って仕事をすることができる。

■委員 市民評価委員になったのは子どものため。自分の老後のことより、子どもたちにとってもっと住みよいところであればよいと思って参加した。実際、参加するとこんなに大変なのかと思った。評価は財政のことも考えて厳しく評価した。事業の選定については、市民評価は行政と市民が協働で進めるものならば、行政の目線と市民の目線の両方で進めるべきだと感じた。事務事業成果表は市民は見ない。市民が見ないのであれば意味がない。市民に見やすくして、市民の理解を得ないと、外部からの圧力がかかったりすることも起こる。事務事業成果表に市民評価の結果を載せることが出来ないかと思う。PDCAサイクルの中で、見直しを行っていることが判るように来年度説明してほしい。

■オブザーバー 若い方が参加されて、おもしろい会議であった。評価の分布を見ると、集中している事業と分散している事業がある。個人の中にも、見方によってAとCがあるので、評価は非常に難しい。評価のプロセスが大事。市民に分かるとよい。現地調査は、話を聞くよりよくわかったので非常によかった。さらに利用者の声が聞けるとよい。行政側と市民側の発想が違うので、成果表の思い切った変更も考えてもよいのでは。評価項目についても有効性は市民でも分かるが、効率性は行政でないと分からない。市民から見ると必要性かと思う。

〔オブザーバーより資料の説明〕

■委員長 これらの意見をいただいたので、オブザーバーの意見も含めながら提言書を作成させていただくということでよいか。

〔異議なし〕

■委員長 ヒアリングで担当課から説明があったが、評価を取りまとめるときに、担当課が出席したほうが、意見の交換ができるのでそのようにしてほしい。任期は2年なのであと1年間お願いしたい。評価についてどのように対応したのかは進行管理上報告をいただく。

■事務局 評価対象事業は行政からの提案があったほうがよいのか、全事業から委員会が選定するのがよいのか意見をいただきたい。

■委員長 行政からの提案もあるということでよろしいか。

〔異議なし〕

■事務局 評価事業数は増やすのか、同じ数で行うのか。

■委員長 今回の状況を考えると、事業を増やすのであれば委員会の体制を考える必要がある。

■委員 評価は時間を短縮して行えばいいものではない。個人的には毎回の会議の終わる時間を明確にしてほしい。

■委員 これくらいが限度ではないか。人数を増やしても意見がまとまらないので、事業

を増やすにはグループに分ける必要がある。

■委員長 この委員会の規模では、今回の事業数が適当であると思うがよいか。評価事業については行政からの提案も含めて選定するということでよいか。

〔異議なし〕

■委員長 今回の意見を基に、事務局で提言書をまとめて各委員に送付するので、最終確認をしてもらう。その後 11 月 4 日に提言書として市長に提出を行う。

〔提言書提出 平成 23 年 11 月 4 日（金）午後 4 時 30 分～〕

〔 閉 会 〕